

2024年9月9日 14時



Setouchi Vélo 協議会事務局

国土交通省中国地方整備局

国土交通省四国地方整備局

本州四国連絡高速道路株式会社

「シェア・ザ・ロード（思いやりロード）」啓発チラシを配布します！

Setouchi Vélo 協議会（以下「当協議会」）では、「シェア・ザ・ロード（思いやりロード）」の啓発運動を実施します。運動の一環としてチラシを配布し、意識の醸成及びヘルメットの正しい被り方について啓発します。配布は、当協議会の加盟団体等と連携し、瀬戸内地域及びその周辺地域（以下「瀬戸内地域等」）が一体となって行います。

※「シェア・ザ・ロード」とは、歩行者、自転車（サイクリスト等）、自動車（ドライバー）が互いの立場を思いやる気持ちを基本として道路を安全・快適に共有することを言います。

○配布期間：2024年9月9日（月）～

○発行部数：30,000部

○配布エリア：兵庫県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県

○配布場所：当協議会加盟団体の関係施設、一部配布エリアの県警管轄施設、本州四国連絡高速道路（株）が管理する一部サービスエリア・パーキングエリア 等

○Setouchi Vélo協議会とは ※ホームページ (<https://setouchivelo.jp/>)



瀬戸内地域等を、環境に配慮し安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育てることにより、瀬戸内地域等のブランド価値の向上を図り、持続的な地域振興を実現することを目的として、2022年10月29日に地方自治体、国、経済連合会等で構成する「Setouchi Vélo 協議会」を設立し、現在では、78団体が所属する組織となっています。※Vélo=自転車（フランス語）

○構成団体 兵庫県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、
（順不同） 近畿地方整備局、中国地方整備局、四国地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監理部、
中国運輸局、四国運輸局、中国経済産業局、四国経済産業局、（一社）中国経済連合会、
四国経済連合会、（一社）せとうち観光推進機構、（一社）四国ツーリズム創造機構、
本州四国連絡高速道路（株）

○参加団体 南あわじ市、淡路市、神戸市、明石市、川西市、上郡町、洲本市、備前市、玉野市、真庭市、
（順不同） 美作市、新見市、津山市、総社市、高梁市、呉市、尾道市、福山市、竹原市、江田島市、
東広島市、三原市、柳井市、周防大島町、大山町、南部町、鳴門市、小松島市、三豊市、
土庄町、多度津町、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、小豆島町、高松市、綾川町、
今治市、上島町、松山市、宇和島市、八幡浜市、伊予市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、
松野町、鬼北町、愛南町、香南市、いの町、宿毛市、（一財）本州四国連絡高速道路協会

みんなで作る「思いやりロード」 SHARE THE ROAD

道路はゆずりあって使おう！



SHARE THE ROAD（シェア・ザ・ロード）とは？

サイクリスト等 ドライバー

歩行者、自転車、自動車がお互いの立場を思いやる気持ちを基本として道路を安全・快適に共有することを言います。

Setouchi Vélo協議会

Setouchi Vélo協議会では、瀬戸内地域及びその周辺地域（以下「瀬戸内地域等」という。）を、環境に配慮した、安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育てることにより、瀬戸内地域のブランド価値の向上を図り、瀬戸内地域等の持続的な地域振興を実現することを目的とし、相互に連携、協力しております。

Setouchi Vélo協議会



構成団体 兵庫県、岡山県、広島県、山口県、鳥取県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、近畿地方整備局、中国地方整備局、中国地方整備局、近畿運輸局、神戸運輸監視部、中国運輸局、四国運輸局、中国経済産業局、四国経済産業局、(一社)中国経済連合会、四国経済連合会、(一社)せとうち観光推進機構、(一社)四国ツーリズム創造機構、本州四国連絡高速道路(株)

参加団体 南あわじ市、淡路市、神戸市、明石市、川西市、上郡町、洲本市、備前市、玉野市、真庭市、美作市、新見市、津山市、総社市、高梁市、呉市、尾道市、福山市、竹原市、江田島市、東広島市、三原市、柳井市、周防大島町、大山町、南部町、鳴門市、小松島市、三豊市、土庄町、多度津町、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、小豆島町、高松市、綾川町、今治市、上島町、松山市、宇和島市、八幡浜市、伊予市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町、香南市、いの町、宿毛市、(一財)本州四国連絡高速道路協会



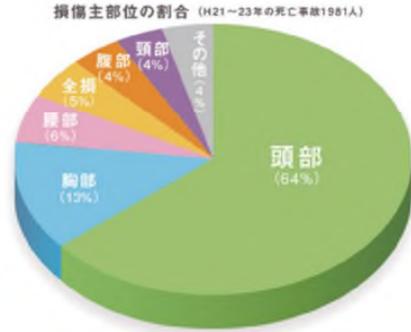
自転車に乗るときはヘルメットを着用しましょう！

全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務になっています。

なぜヘルメットをかぶらないといけないの？

転倒時の損傷箇所の割合

転倒時の損傷部位を見ると、頭部が圧倒的多数を占めています。転倒の際に路面や縁石で強打する、あるいは自動車等との衝突で車輪に巻き込まれたり、車体や外板で強打する場合があります。これらによって頭蓋骨骨折や脳挫傷、脳しんとうを起こすケースが多く、死亡に至っています。当然ながら、頭部に損傷を受けると、他の部位に比べ死亡割合が著しく高くなります。自動車やバイクに比して「手軽な乗り物」という油断を生みがちな自転車ですが、いったん事故にあって頭部に損傷を受けると、死亡に至る事故につながります。まずは頭部を守る、つまりヘルメットの着用が何よりも大切であると言えます。



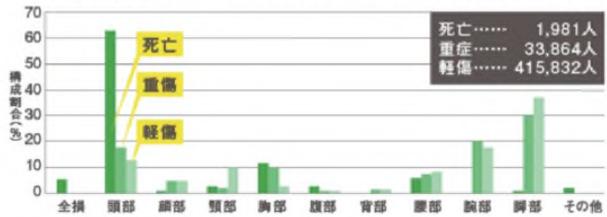
※出典「交通事故分析レポートVol.97」/(公財)交通事故分析センター(平成24年11月)

装着時と非装着時の比較など

停車中の自転車の転倒時に頭蓋骨にかかる力(骨折の危険性)や脳にかかる力(脳震盪の危険性)はどの程度かを検証するため、「ヘルメット装着の場合」と「ヘルメット未装着の場合」の人体モデルを使った「転倒実験」をもとにシミュレーションした結果、ヘルメットの重要性が浮き彫りとなりました。

頭部に損傷を負うと、60%が超が死亡に至る重大事故に！

自転車事故の損傷部位別 / 損傷程度による損傷部位(平成21～23年【構成割合】=【各損傷主部位損傷者数】x100)



※出典「交通事故分析レポートVol.97」/(公財)交通事故分析センター(平成24年11月)

※引用「ヘルメットをかぶろう!」株式会社オージーケーカブト
https://www.ogkkabuto.co.jp/hg/ind.html, 2024年6月14日参照

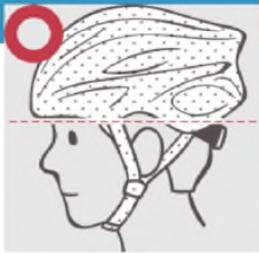
ヘルメットの正しい装着方法

ヘルメットの正しい装着角度

ヘルメットは正しい角度で装着することで、ヘルメット本来の機能を発揮することができます。装着の際は、必ず正しい角度で装着することを心がけましょう。ヘルメットをかぶる前にアジャスター付きの場合は「必ずアジャスターを緩めてから」かぶります。

1 正しい角度で装着

正しい角度で装着することで、ヘルメット本来の機能を発揮することができます。



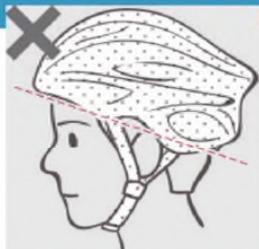
3 あご下の適度なあそび

あごにあご紐の間に指を1～2本入れられるか確認します。入らない場合や、緩すぎる場合は適切にあごひもの長さを調整しましょう。



2 左右均等に

ヘルメットの先端がまゆ毛のすぐ上にくるように角度を合わせ、左右均等にかぶりませ。額が見えるほどヘルメットの先端が上を向いていたり、ヘルメットが傾いていたりしてはいけません。



4 耳元のV字部分のねじれチェック

あごひもがV字になっている部分にはあごひもを1つにまとめるための部品(アジャストロック)が装備されています。あごひものV字部分が耳元にすっきり収まるよう、部品の高さを適切に調整しましょう。



悪い例：1
V字部分がねじれている



悪い例：2
アジャストロックが適切な位置でない

※引用「ヘルメットをかぶろう!」株式会社オージーケーカブト
https://www.ogkkabuto.co.jp/hg/ind.html, 2024年6月14日参照